

I 令和8年度事業計画書

当協会は、視覚障害者や高齢者など日々の食生活を営む上でハンディがある人々に対し、必要とされる情報などをお届けするため、様々な活動を行っております。

令和8年度においても、日頃ご支援いただいている皆様のご理解をいただきながら、従来の活動の成果を踏まえ、さらに事業内容の見直しを図りつつ、視覚障害者への食生活に関する情報の提供、視覚障害者の食生活の自立支援及び食育に関する事業を推進して参ります。

1 視覚障害者への食生活情報の提供

① 月刊「声の食生活情報」の提供

年間12号を発行し、視覚障害者個人、視覚障害者福祉協会、点字図書館、盲学校等へ提供します。カセットテープまたはデイジー対応CDで提供するとともに、当協会ホームページおよび「サピエ図書館」からも配信します。

令和8年度は11月号で通算500号を迎えることから、特別号を企画しています。その他、より幅広い実用的な情報を収めるなど、内容の一層の充実に努めます。また、新しい試みとしてSNS(X「声の食生活情報の中の人」)での広報にも努めます。

実施規模：年間12号、約3,000名・全国約90施設へ提供

〔(公財)飯島藤十郎記念食品科学振興財団助成事業〕

〔(一社)日本フードサービス協会助成事業〕

② 随時提供する食生活情報

・小麦製品を使用した料理のCD作成

小麦製品を利用した料理の作り方をわかりやすく説明したデイジー対応CDを作成し、視覚障害者個人、視覚障害者福祉協会、点字図書館、盲学校等へ提供します。また、「声の食生活情報」や当協会HP「すこやか食生活ネット」に専用ページを設け、内容を提供します。

実施規模：CD400枚作成、全国約300施設へ配布

〔(株)日清製粉グループ本社〕

・「きょうはおにぎりを握ろう！」番組作成

(公社)米穀安定供給確保支援機構と共同で、おにぎりの基本の握り方からアレンジまで紹介する番組を10回作成します。デイジー対応CDとして取りまとめ、視覚障害者個人、視覚障害者福祉協会、点字図書館、盲学校等へ提供します。また、「声の食生活情報」や当協会HP「すこやか食生活ネット」に専用ページを設け、内容を提供します。

実施規模： 全10回、CD 400枚作成、全国約300施設へ配布

③ ホームページを活用した食生活情報の提供

レシピ紹介など内容の充実を図り、スマートフォン版サイトを通じた情報提供を進めます。

実施規模： 年間20件程度更新

2 視覚障害者の食生活の自立支援

① 料理レシピ集の作成・提供

「サラダごはん」レシピ集を作成し、大活字・透明点字・音声コード付きで、視覚障害者個人、視覚障害者福祉協会、点字図書館、盲学校等へ提供します。

実施規模： 3,700部作成、全国約3,000施設へ配布

〔(一財)日本宝くじ協会助成事業 申請中〕

② パンレシピ集の作成・提供

山崎製パン(株)の協力を得て、視覚障害者が作りやすいレシピを開発する。大活字・点字併用レシピ集を印刷し、視覚障害者個人、視覚障害者福祉協会、点字図書館、盲学校等へ提供します。また、レシピを活用した料理教室を開催します。

実施規模： レシピ集400部作成、料理教室2回、参加者30名

③ 即席食品を利用した料理教室の開催

(一社)日本即席食品工業協会の協力を得て、簡便な即席食品を活用した料理教室を開催します。

実施規模： 4回開催、参加者 80 名

3 食育の推進

① シニア世代の健康と食を考えるセミナー

専門家による知識・手法を紹介するセミナーを開催します。

実施規模： 1回開催、参加者 100 名

② シニア料理教室の開催

牛乳・乳製品を使った栄養バランスの良いメニューを普及する料理教室を開催します。

実施規模： 5回開催、参加者 100 名

〔関東生乳販売農業協同組合連合会助成事業 申請中〕